

報告 プロジェクトの目標「1年間の風況調査」 風力発電プロジェクト

ついに着手！

4月9日(金)に七ヶ宿町柏木山内の町有地にて高さ40mの風速計が設置され、七ヶ宿町とMELONの協同による1年間の風況調査がスタートしました。工事が行なわれた日は風が強く、記録計での観測値は風速10m/秒を超えていました。



設置完了した高さ40mの風速計

MELON 風力発電推進プロジェクトは2001年8月に、宮城県における市民出資型の風力発電事業の可能性を探るためにつくられたプロジェクトです。県内での1年間の風況調査の実施を当面の目標として活動してまいりました。この活動の中で、新エネルギー導入の調査を検討している七ヶ宿町と協同調査ができないかという協議が行なわれ、今回の調査実施にいたりました。風速計設置にあたっては、既に市民風車事業で実績を重ねている北海道グリーンファンドに協力していただきました。

今回の調査は、風力発電施設の導入可能性検討を念頭においたものです。風況調査後の活動に関しては、「はじめに風力発電施設建設ありき」ではなく、地域活性化や子ども達の環境学習などまちづくりの観点、景観や生態系保全の観点などからも、地元住民の方々や環境保全団体の方々と、今回の調査で得られる風況データをもとに、意見交換しながら最良の形を模索していきたいと考えております。

現在宮城県内では、米山町で1年間の風況調査を実施している他、気仙沼市でも民間事業者がNEDOフィールドテスト事業として調査を行なっています。

ストップ温暖化センターみやぎ「通信」⑩

宮城県地球温暖化防止活動推進員の活動開始！

今年3月に41名の宮城県地球温暖化防止活動推進員(以下推進員)が誕生しました。推進員は、地域で省エネの実践や温暖化問題の学習会の開催などを支援する相談者です。(例：温暖化についての学習会講師、家庭の省エネのアドバイザーなど)

ストップ温暖化センターみやぎでは推進員が地域からのニーズに応えられるよう、研修会の実施等支援を行います。

また、今年度後半には推進員の募集があります(詳細は未定)。温暖化防止活動が推進されるために必要なキーパーソンが、県内各地域で生まれることが望まれます。



市民がつくるみやぎ環境白書が出来ました

「みやぎで進める地球温暖化対策 新たなステップに向けて」と題した最新版が完成しました。推進員研修の講演内容や県への政策提言、自治体の温暖化対策調査結果が収録されています。1部1000円で販売する他、ホームページでもご覧になれます。



省エネ漫画も読める今年の「白書」

水道凍結防止電熱線に関する調査を開始！

今年度、センターでは水道凍結防止用電熱線の省エネ対策についての調査を開始します。皆さんのご家庭では電熱線を使用していますか？県内各地域にて調査を実施いたします。報告をお楽しみに。